

# 令和4年度「丹波くりマイスター養成講座」実施要領

## 1 目的

各地域において、丹波くりの生産技術指導の要となり、また、栽培の魅力を発信するスポークスパーソンとして、地域での丹波くり栽培をリードする中核的生産者を育成することで、丹波くり栽培の更なる拡大を図る。

## 2 研修対象

下記、①～③の要件を満たす者とする。

- ① 平成28年度、29年度に実施の「丹波くり新規担い手研修会」（以下、「同研修」という。）受講者、若しくは、同研修受講者と同等の知識・技術を有する者で、現在、管内において丹波くり栽培を行っている者(※1)
- ② 研修終了後、各地域において、自ら積極的に他の生産者等の指導にあたりるとともに、丹波くり栽培の魅力を発信できる者
- ③ 府・市町から、他の生産者等に対する指導要請があった場合は、積極的に協力できる者(※1) 受講申込書を受理後、面接までに園地を確認させていただきますので、御了解ください。

## 3 研修内容

府内で唯一、丹波くり栽培で「地域特産物マイスター」(※2)の認定を受けた山内善継氏を講師とし、年間を通じた各作業に従事しながら指導を受けることで、中核的生産者たる「栽培技術」及び「指導力」「発信力」を習得する。

(※2) (公財)日本特産農産物協会が認定する者で、卓越した栽培・加工等技術を有し、産地育成の指導者となる人材。

### (1) 研修方法

上質の丹波くり生産に必要な各作業について、講師が示す各作業期間中に、下記(2)に示す日数を従事し、指導を受けることとする。

### (2) 内容・日数(※3)

(単位:日)

内容 (時期目安)	防虫・除草 (7月～9月)	水田改良 (7月～9月)	収穫・選果 (9月～10月)	定植・育苗 (11月)	剪定・施肥 (1月～3月)	採穂・接ぎ木 (2月～3月)	受講者園巡回 (随時)	計
日数	1.0	1.5	2.0	1.0	3.5	1.0	2.0	12.0
回数(想定)	0.5*2	1.0*1+0.5*1	1.0*2	0.5*2	1.0*3+0.5*1	0.5*2	1.0*2	16回

(※3) 天候や作柄等の状況により、複数作業間で日数を調整することがあります。

### (3) 場所

京丹波町市場 山内善継(よしつぐ)氏 くり園 他

## 4 受講人数、募集・選考方法

### (1) 受講人数

3名(福知山市、綾部市)

### (2) 募集・応募方法

- 募集は、同研修受講者へのダイレクトメール及び公募(プレスリリース及びHP掲載)による。
- 募集・応募方法の詳細は、別途定める「募集・応募要領」による。

### (3) 選考方法

講師・京都府により、下記方法によって、上記2の要件に照らし選考する。

方法	内容
経歴考査	受講申込書による
筆記考査	小論文(テーマ:丹波くり栽培への思い、将来の夢、自己アピール等)
口述考査	講師、京都府による面接

## 5 研修実施方法

- 受講生募集・研修実施の流れは、裏面「実施フロー」のとおり。

# 令和4年度「丹波くりマイスター養成講座」実施フロー

【募集期間】  
6月20日(月)～7月1日(金)

受講生募集

【応募】

① 受講申込・受講条件同意書 ② 履歴書 ③ 小論文(丹波くり栽培への思い、自己アピール等)

7月14日(木)

面接

【場所】  
道の駅 東丹波 味夢の里  
(東丹波町)

7月20日(水)まで

受講生決定通知

講座受講

講座実施期間:8月～3月

研修内容・日数	
内容	日数
防虫・除草	1.0
水田改良	1.5
収穫・選果	2.0
定植・育苗	1.0
剪定・施肥	3.5
採穂・接ぎ木	1.0
受講者園巡回	2.0
計	12.0

各作業日程連絡  
(局→各受講生)

受講希望日連絡(受講生→局)

受講

「研修日報」提出(受講生→局)

(各作業ごとに繰り返し)

◆研修初日:  
挨拶・全体オリエンテーション  
◆研修最終日:  
修了式・修了証書授与

① 出席記録簿に記帳  
② 研修後、「研修日報」を記載